

ネットワークカメラ

設置説明書

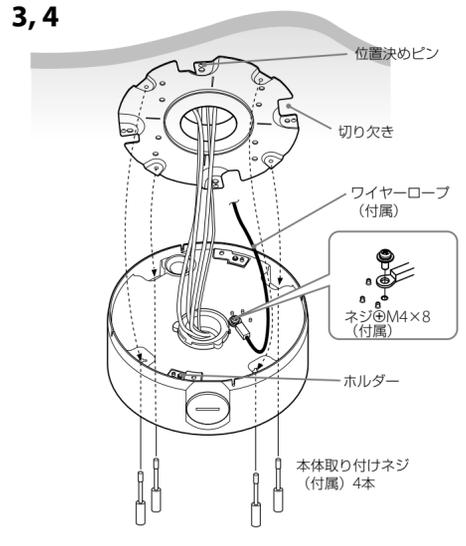
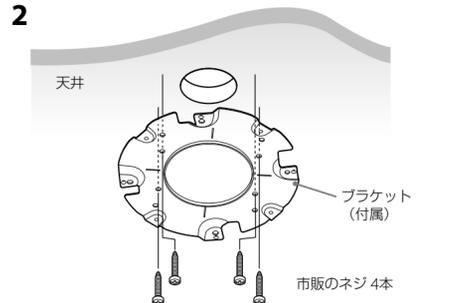
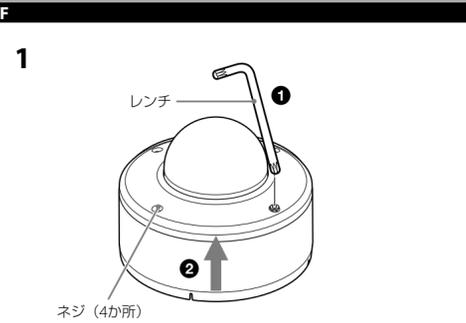
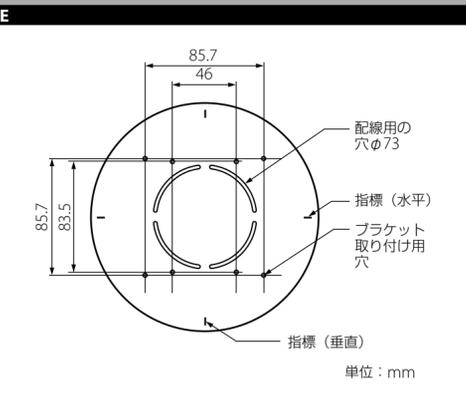
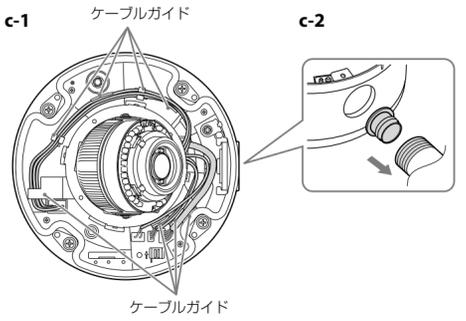
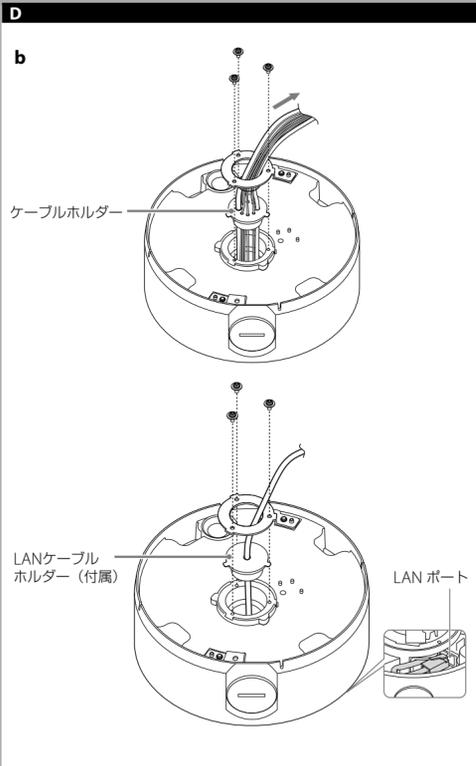
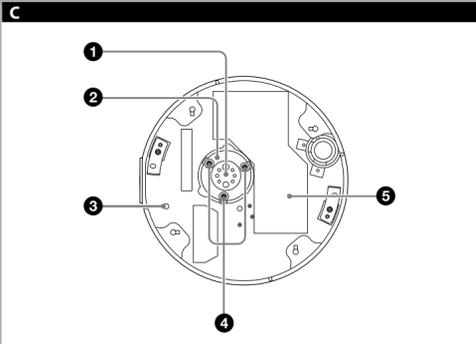
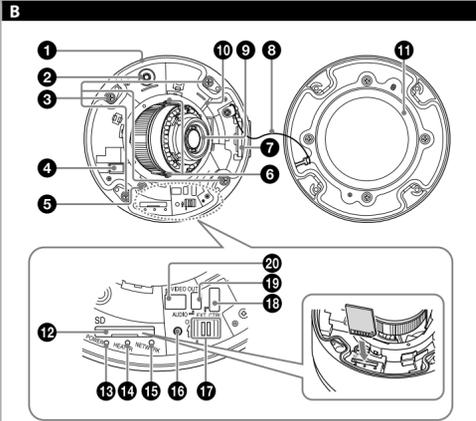
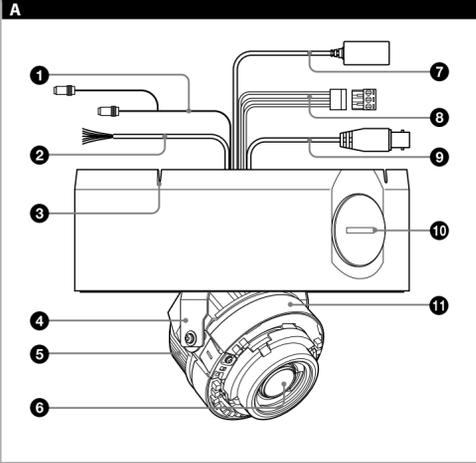
お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この**設置説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SNC-VM642R/EM642R

© 2017 Sony Corporation



説明書について

安全のために (同梱)

カメラを安全に使うための注意事項が記載されています。必ずお読みください。

設置説明書 (本書)

カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。説明のための例としてSNC-VM642Rのイラストを使用しています。SNC-EM642RにはI/Oケーブル、電源入力ケーブルはありません。

電子マニュアル (Web)

- Webブラウザを介したコントロールの方法
 - カメラのセットアップの方法
- 設置説明書にしたがってカメラを正しく設置、接続したあと、上記のガイドをご覧ください。

本機にIPアドレスを割り当てる

1 ダウンロードサイトより任意のフォルダに「SNC toolbox」のインストーラーをダウンロードする。

2 SNC toolboxをインストールする。
ダウンロードしたインストーラーのZIPファイルを解凍します。「SncToolbox_Setup.exe」をダブルクリックします。インストール方法や使用方法の詳細については、アプリケーションガイドをご覧ください。

3 IPアドレスを割り当てる。
インストールしたSNC toolboxを使って、IPアドレスを割り当てます。詳しくは、アプリケーションガイドの「SNC toolboxを使う」 - 「IPアドレスを割り当てる」を参照してください。

補足

SNC toolboxは、Sony Network Camera toolboxの略です。

各部の名称と動き

図は、ドームケースを外した状態です。

側面

オーディオケーブル

長いケーブルをライン出力端子 (SP表示)、短いケーブルをマイク/ライン入力端子 (MIC表示) として使用します。

- SP端子 (ミニジャック、モノラル)**
市販のアンプ内蔵スピーカーを接続します。
- MIC端子 (ミニジャック、モノラル)**
市販のマイクを接続します。
プラグインパワー方式 (基準電圧2.5 VDC) に対応しています。

I/O (入出力)ケーブル (SNC-VM642Rのみ)

2系統のセンサ入力、2系統のアラーム出力を備えています。各ワイヤーは次の信号に対応しています。

ワイヤーの色	名称
赤	センサ入力1+
白	センサ入力2+
黒	センサ入力ー (GND)
黄	アラーム出力1+
茶	アラーム出力1ー
緑	アラーム出力2+
青	アラーム出力2ー

◆各機能や設定について詳しくは、ユーザーガイドをご覧ください。

◆配線については「I/Oケーブルの接続」(P2)をご覧ください。

ワイヤーロープ用スリット

この部分にワイヤーロープを通してください。

◆詳しくは、「カメラを取り付ける」をご覧ください。

ベース (パン)

カメラブロック

レンズ

LANケーブル (RJ-45)

市販のネットワークケーブル (UTP、カテゴリ 5) を接続してPoE/PoE+*給電およびネットワーク通信を行います。

接続について詳しくは、電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

(*PoE: Power over Ethernetの略です。IEEE802.3atに準拠しています。)

電源入力ケーブル (SNC-VM642Rのみ)

AC 24 VまたはDC 12 Vの電源供給装置へ接続します。

ケーブル先端のコネクタチップに延長用ケーブルをネジ止めできます。FG端* (3ピン端子の中央) にアースを取ってください。■のイラストをご覧ください。

BNCケーブル

本機からの映像をコンポジット信号として出力します。

接続口 (側面) (1/4 NPTまたはM27 (ピッチ 2.0 mm)、穴径 27 mm) パイプを接続します。接続口はカメラ本体の側面にあります。出荷時は側面の接続口にカバーが付いています。必要に応じてカバーを付け換えて、パイプを取り付けてください。

内側のナットを取り外すことで、M25のケーブルグラウンドを取り付けることができます。

ご注意

屋内配線をするときに、カメラと、天井や壁の間にケーブルはさみ込まれないようご注意ください。ケーブルがはさみ込まれると、断線による火災や感電の原因となります。

カメラヘッド



内面

以下のケーブルは出荷時には接続されています。

SNC-VM642R: ●、●、●、●、●

SNC-EM642R: ●、●、●

カメラ本体

ZOOM/FOCUS (ズーム/フォーカス) スイッチ

レンズの撮影範囲 (ズーム)、フォーカス調整時に使用します。スイッチを倒す方向に応じた機能が働きます。

[W] WIDE (ワイド): ズームアウトをします。

[T] TELE (テレ): ズームインをします。

[N] NEAR (ニア): 近くのものにフォーカス (焦点) を合わせます。

[F] FAR (ファア): 遠くのものにフォーカスを合わせます。ZOOM/FOCUSスイッチ中央を長押しすると、自動的にフォーカスを合わせます。

カメラ取り付け用ネジ (4か所)

取り付けの際、取り付けネジはしっかり締めてください。

AC/DC IN (電源入力) 端子 (SNC-VM642Rのみ)

電源入力ケーブルを接続します。

MONITOR (モニター) 出力端子

ビデオモニターの映像入力端子と接続します。カメラおよびレンズの調整を行うとき、本機で撮っている画像をビデオモニター画面上で見ることができます。調整が終わったら、ケーブルを外してください。

カメラブロック固定ネジ (チルト) (2か所)

ネジをゆるめてからカメラブロックを撮影したい方向に向け、そのあと締めて固定します。

ナット (3/4 NPTまたはM27 (ピッチ 2.0 mm))

脱落防止コード

ドームケースを開けたときにカメラ本体からドームケースが脱落するのを防ぎます。

△TOPマーク

画像の上方向を示します。

LAN (ネットワーク) ポート (RJ-45)

LANケーブル (RJ-45) を接続します。

ドームケース

ドームカバーはポリカーボネート製です。本体との接合部には防水用ゴムが付いています。

SDカードスロット

別売のSDメモリーカードを装着できます。メモリーカードを装着することで、カメラの画像をメモリーカードに記録できます。

SDカードをカチッと音がするまで差込口に静かに挿入してください。(図参照) 本機は、SD規格およびSDHC規格のメモリーカードにのみ対応しています。

ご注意

動作確認済みのSDメモリーカードについては、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

POWER (電源) インジケータ (緑)

カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。正常に動作している場合はこのインジケータが点灯します。

HEATER (ヒーター) インジケータ (緑)

内蔵のヒーターが正常に動作している場合、点灯します。

NETWORK (ネットワーク) インジケータ (緑/橙)

ネットワークに接続されているときは点灯、または点滅します。ネットワークに接続されていないときは消灯しています。

リセットスイッチ

先の細い物でこのスイッチを押しながら電源を供給すると、工場出荷時の設定に戻ります。

DIPスイッチの設定

DIPスイッチの機能および設定

スイッチ番号	1	2
	VIDEO	VIDEO
上 (ON)	PAL	PoE+, AC, DC
下 (OFF)	NTSC	PoE

1 VIDEO (NTSC/PAL) スイッチ (工場出荷時の設定: NTSC)

映像出力を切り替えます。スイッチを設定した後は、カメラを再起動してください。

2 POWER (PoE+, AC、DC/PoE) スイッチ (工場出荷時の設定: PoE+, AC、DC)

お使いになる電源に合わせてPoE+、AC、DC/PoEを切り替えます。

ご注意

IEEE802.3af (PoE) 準拠の装置により給電するときに、スイッチをPoE+にするとカメラが正常に動作しません。

IEEE802.3at (PoE+) 準拠の装置またはAC電源またはDC電源より給電するときに、スイッチをPoEにするとヒーターが動作しません。低温でご利用の場合はカメラが動作しない場合がありますのでご注意ください。

SNC-EM642R

スイッチ番号	1	2
	VIDEO	VIDEO
上 (ON)	PAL	PoE+(at) -40°C ~ +50°C
下 (OFF)	NTSC	PoE(af) -30°C ~ +50°C

1 VIDEO (NTSC/PAL) スイッチ (工場出荷時の設定: NTSC)

映像出力を切り替えます。スイッチを設定した後は、カメラを再起動してください。

2 PoE PWR スイッチ (工場出荷時の設定: PoE)

お使いになるPoEハブに合わせてPoE+/PoEを切り替えます。

ご注意

IEEE802.3at (PoE+) 準拠の装置により給電するときに、スイッチをPoEにすると起動温度/使用温度が制限されます。

IEEE802.3af (PoE) 準拠の装置により給電するときに、スイッチをPoE+にするとカメラが正常に動作しません。

EXT CTRL (外部入出力) 端子 (SNC-VM642Rのみ)

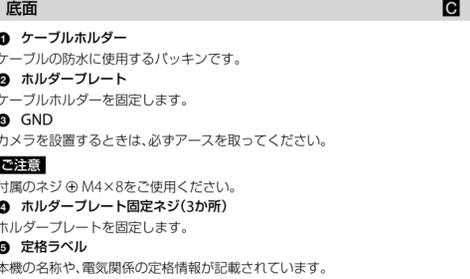
I/O (入出力) ケーブルを接続します。

AUDIO (オーディオ) 端子

オーディオケーブルを接続します。

VIDEO OUT (映像出力) 端子

BNCケーブルを接続します。



準備

ケーブルの接続、配線を変更する

ご使用環境に合わせてケーブルの接続、配線を変更する場合は、下記の手順をご覧ください。

- ◆ ケーブルを側面から引き出すときは、「側面の接続口を使う場合」をご覧ください。

a) 出荷時のまま使用する場合

準備はこれだけです。

b) LANケーブルのみを使用する場合

- 付属のレンチでドームケース固定ネジを4か所ゆるめ、ドームケースを外す。
- 底面のホルダープレート固定ネジを3か所ゆるめ、ホルダープレートとケーブルホルダーを外す。
- すべてのケーブルをコネクタから外し、ケーブルホルダーから取り出す。
- LANケーブルホルダーの穴にLANケーブルを通す (ケーブルホルダーをLANケーブルホルダーに換える)。
- LANケーブルを接続口 (底面) に通し、接続口からLANポートまでのケーブルの長さが適当になるように調整する。
- LANケーブルをLANポートに接続する。
- 外したホルダープレートを3か所の固定ネジで接続口 (底面) に取り付ける。

c) 上記以外の場合

- 付属のレンチでドームケースネジを4か所ゆるめ、ドームケースを外す。
- ホルダープレート固定ネジを3か所ゆるめ、ホルダープレートとケーブルホルダーを外す。
- すべてのケーブルをケーブルホルダーから取り出し、不要なケーブルをコネクタから外す。

ご注意

- b) の場合、ご自身のLANケーブルを使用するときは、φ5.0 mmからφ6.0 mmのものをご使用ください。そうでない場合は、接続口 (底面) を防水処理してください。
- c) の場合、防水作業が必要な場合は、「カメラ設置時の注意事項」(P2) を必ずご覧ください。
- ケーブルは強く引かないでください。端子から外れる恐れがあります。
- ケーブルガイドからケーブルが外れた場合、ケーブルガイドに沿ってケーブルを固定し直してください。
- c) の場合、ケーブルプレートとケーブルホルダーは取り付けないでください。

d) 側面の接続口を使う場合

出荷時は接続口 (底面) からすべてのケーブルが接続されています。側面の接続口から引き出したい場合は以下の手順に従ってください。

- 側面の接続口カバーを外す。
- 底面のホルダープレート固定ネジ3か所をゆるめ、ホルダープレートとケーブルホルダーを外す。
- すべてのケーブルをコネクタから外し、接続口 (底面) からケーブルを取り出す。
- 必要なケーブルをパイプ、そして付属のケーブルホルダー (Conduit用) に通し、最後に接続口 (側面) に通してください。 (D-c-2)
- ケーブルをコネクタに接続する。
- ケーブルガイドに沿ってケーブルを固定する。 (D-c-1)
- 外した接続口カバーを接続口 (底面) にねじ入れる。

ご注意

- 接続口 (底面) が汚れていると、接続口カバーがうまく取り付けられず、カメラ本体に雨などが入り、故障の原因になります。柔らかい布などで汚れを拭き取り、しっかりと締めて取り付けてください。
- 雨などを防ぐため、パイプやカバーを取り付けたあとに、シリコンシーラントなどで密閉してください。
- 接続口 (底面) に接続口カバーを取り付けるとき、ホルダープレートとケーブルホルダーは不要です。
- カメラを設置または取り外すときは、接続口カバーとナット (B-7) を落とさないようご注意ください。
- 付属のケーブルホルダー (Conduit用) を使用するとき、詳しくは「カメラ設置時の注意事項」(P2) をご覧ください。

設置

警告

- 壁や天井など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材 (付属品を除く) が15 kg以上の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめのうえ、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下し、落下しただけの原因となります。
- 落下事故防止のため、付属のワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 天井へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

カメラの取り付け位置を決める

カメラの撮影方向を決めてから、付属のテンプレートを使って配線用の穴 (φ73 mm) をあけ、ブラケット取り付け用穴 (4か所) の位置を決めます。

取り付けネジについて

付属のブラケットにはφ4.5 mmの穴が8か所あいています。このうち、2か所 (ピッチ83.5 mm) または4か所 (ピッチ85.7 mm) を使ってブラケットを天井や壁にネジ止めします。設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。市販のネジをお使いください。

鋼材の場合: M4ネジとナットで固定してください。

木材の場合: タッピンネジ (呼び径4) で固定してください。板厚は15 mm以上必要です。

コンクリート壁の場合: ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。DIPスイッチを使用しない場合、落下して抜けの原因になります。

警告

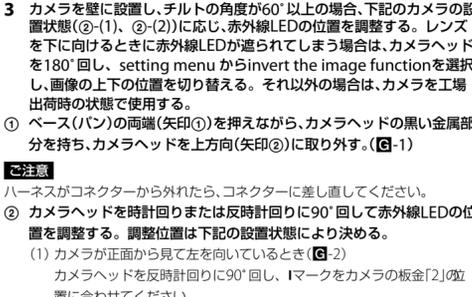
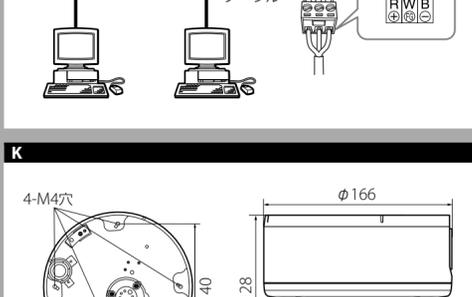
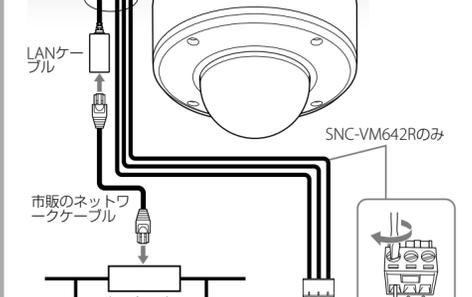
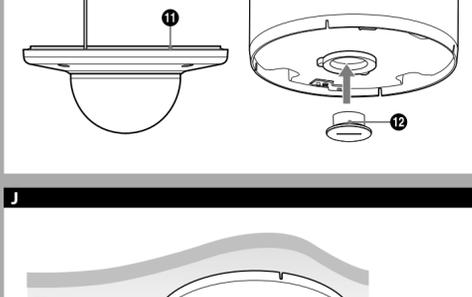
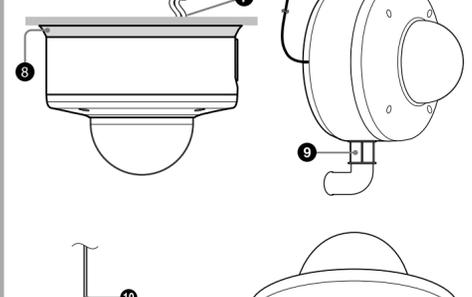
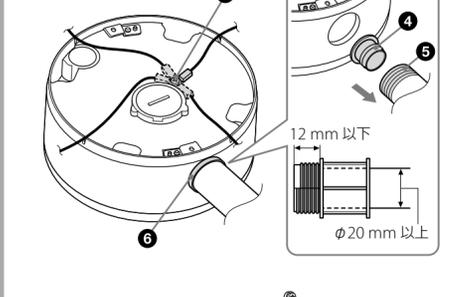
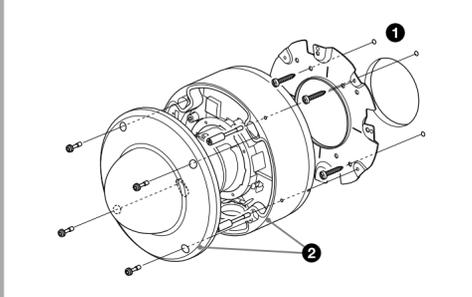
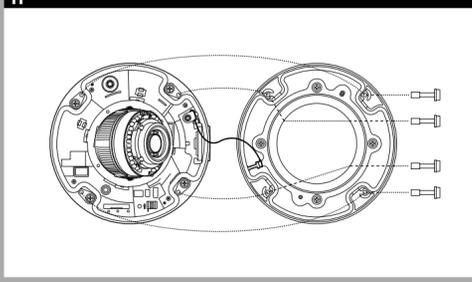
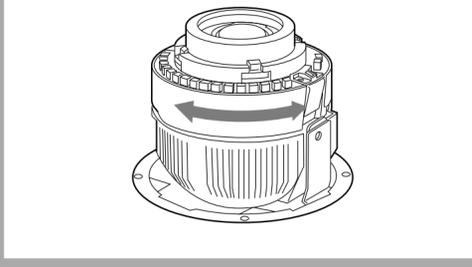
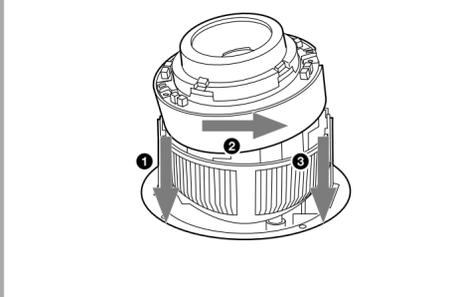
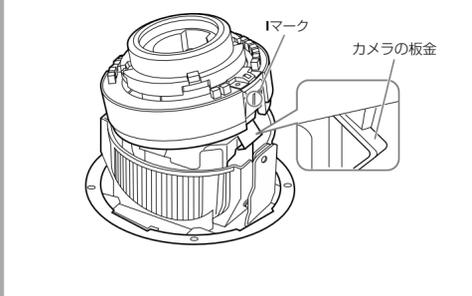
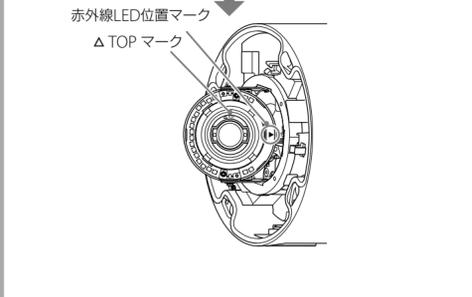
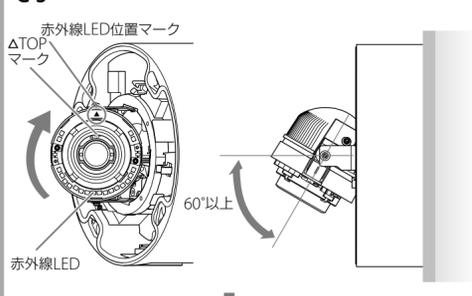
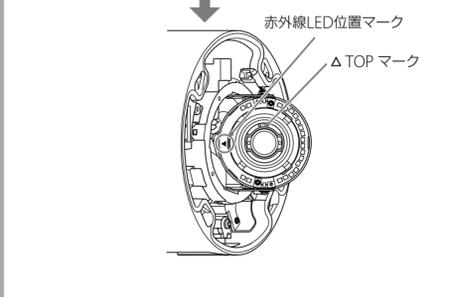
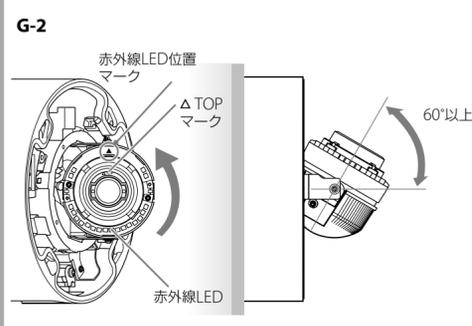
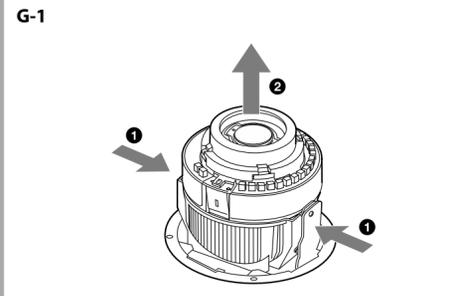
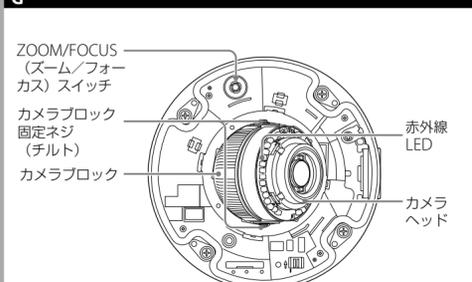
設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して抜けの原因になります。

カメラを取り付ける

- ドームケースを外す。**
 - 付属のレンチでネジをゆるめる。
 - ドームケースを手前に持ち上げて外す。(ネジが引っ掛かるときは、ネジを上を持ち上げてください。)
- 付属のブラケットを天井や壁に取り付ける。**
使用するネジについては、「取り付けネジについて」をご覧ください。
- 付属のワイヤーロープをカメラと天井、または壁に取り付ける。**
 - 付属のネジφ M4×8で、カメラ底面のワイヤーロープ取り付け穴にワイヤーロープを固定する。
 - ワイヤーロープを天井または壁に取り付ける。
カメラを壁面に設置するときは、ワイヤーロープ用スリットにワイヤーロープを通してください。 (A-3)
- 付属の本体取り付けネジ (4本) でブラケットにカメラ本体を取り付ける。**
ネジには脱落防止機構があります。ネジをカメラのネジ穴に差し込んだ状態でカメラ本体を逆さにしても、ネジは落下しません。
カメラ本体のホルダー (2か所) をブラケットの切り欠き (4か所) のうち2か所に差し込み、カメラ本体を時計方向に回して、位置決めピンをホルダーの穴にはめてください。これによりカメラ本体のネジ穴 (4か所) とブラケットの突起の位置が揃います。突起は90° ごとに4か所ありますので、カメラの向きを4方向に設定できます。
カメラのネジ穴に差し込んだ本体取り付けネジ (4本) を締めて、カメラ本体をブラケットに固定してください。

ご注意

天井や壁に取り付けネジを使えない場合や、カメラ本体を目立たせたくない場合は、天井埋め込み金具YT-ICB45 (別売) をご使用ください。天井埋め込み金具でカメラを取り付けるときは、天井埋め込み金具の左右金具の固定ネジを、Dの位置に固定してお使いください。詳しくは、天井埋め込み金具の取付説明書をご覧ください。



(2) カメラが正面から見て右を向いているとき (G-3)
カメラヘッドを時計回りに90°回し、Iマークをカメラの板金「3」の位置に合わせてください。

④ ベース(バン)を押さえながらカメラヘッドをカメラブロックにはめ込む。はめ込む前に、カメラヘッドのツメ(2か所)がカメラの板金の外側にあることを確認してください。(G-4)
(1) カメラヘッドの片側を、下方向(矢印①)にスライドする。(G-5)
(2) カメラヘッドを反対方向(矢印②)押しながら、下方向(矢印③)にスライドし、カメラブロックにはめ込む。(G-5)
(3) カメラブロック固定ネジを2か所締めてカメラを固定し、カメラヘッドとカメラブロックが時計回りおよび反時計回りにスムーズに回転できるか確認する。(G-6)

注意
出荷時はマークはカメラの板金「1」に合わせてあります。

4 ZOOM/FOCUSスイッチをW/Tに倒して画角を合わせる。
5 ZOOM/FOCUSスイッチを長押しして自動でフォーカスを合わせる。
6 希望の撮影範囲とフォーカスが決まるまで、手順1~5を繰り返す。

注意

- 上記の方法で赤外線LEDの向きを調整しない場合、赤外線LEDが隠れてしまい、赤外線照射距離または画質に影響が出る恐れがあります。
- カメラヘッドを取り付けるとき、ハーネスがカメラヘッドのツメとカメラの板金の間に挟まらないようにご注意ください。
- カメラヘッドを取り付けた後、カメラヘッドのツメ(2か所)をしっかりカメラブロックの凹部分にはめ込んだことを確認してください。
- カメラブロック固定ネジをゆるめずにカメラヘッドの向きを調整すると、内部の部品が変形することがあります。
- 被写体の位置や撮影状況により、ZOOM/FOCUSスイッチを長押ししてもフォーカスが合わないときは、ZOOM/FOCUSスイッチをN/Fに倒してフォーカスを合わせてください。
- フォーカスを調整した直後にカメラの電源を切らないでください。フォーカスを調整してから5分後に電源を切ってください。
- ドームケースを取り付けることによって多少のボケが生じる場合があります。システムメニューでフォーカス調整を行ってください。詳しくは、「ユーザーガイド」をご覧ください。
- ズームやローテーションによっては、ドームケースを取り付けるとケースが映り込む場合があります。また、ドームカバーの光学保証領域以外のゆがみがある場合があります。
- カメラブロック固定ネジ(チルト)は0.5~1回転より多く回さないでください。ネジが外れて落下する恐れがあります。

ドームケースを取り付ける

ドームケースとカメラ本体を固定する。
ドームケースのネジ穴とカメラ本体のネジ穴を合わせ(4か所)、付属のレンチでドームケース固定ネジ(4本)をしっかり締めます。

注意
脱着防止コードが、ドームケースとカメラ本体の間にはさまないように注意してください。脱着防止コードを回して、ドームケースをカメラ本体に取り付けるときの位置を調整してください。

カメラ設置時の注意事項

このカメラは保護等級IP66に準拠していますが、本項目は結露または浸水による事故を防ぐための重要な注意事項です。下記の注意事項をよくお読みのうえ、設置してください。

- 接続ケーブルの先端(コネクタを含む)が水に触れないように設置してください。線材内部を伝って浸水する場合があります。
- ブラケットおよび本体は、段差、異物、ゆがみがない場所に取り付けてください (I-1)
- 設置説明書に従い正しく取り付け、付属のネジで固定してください。(I-2)
- 落下防止用ワイヤーロープを本体側面から外に出す場合には、ワイヤーを引き出す方向にネジ止めしてください。(I-3)設置の際に、ブラケットと本体の間に挟みこまないようにしてください。
- Conduitに接続したパイプから、接続先の湿気が入らないように、付属のケーブルホルダー (Conduit用) を使うか、パイプ内を封止してください。(結露防止 I-4)
- 3/4-14 NPTまたはM27 (ピッチ2.0 mm)の規格でネジ部の長さが12 mm以下および内径がφ20 mm以上のパイプやジョイントを使用してください。ネジ部はシール材を使用して確実に防水してください。(I-5)
- Conduit部の接続にケーブルグランドを使用する場合、次の条件を満たしたものを使用してください。
- φ27 mmの穴に取り付く
- ネジの長さが12 mm以下
- 設置状況に適した防水性能がある
- Conduit部の接続にフランジ付きのパイプを使用する場合、フランジと本体の間に隙間が生じるため、フランジと本体間を全周シーリングにより防水処理してください。(I-6)
- 底面側は防水構造となっています。しかし、「準備」のb)またはc)の場合、カメラにケーブルを接続するときは、底面側に水が浸入しないように、防水処理された筐体や天井に設置してください。または、水が浸入しないように接続口(底面)をシーリングしてください。(I-7)このとき、天井とカメラの結合部分をシーリングして、水が浸入しないようにしてください。(I-8)

壁に取り付ける場合

- 側面の接続口を使用する場合は、ケーブルを伝って水が浸入しないように、接続口を下向きに設置してください。(I-9)
- 高温で直射日光が当たる環境の場合は、SNCA-WP602 Weather protector(別売)を取り付けてください。Weather protectorは雨よけや雪よけにも効果があります。

組み立ての注意点

- 脱着防止コードをドームケースとカメラ本体の間に挟み込まないように注意してください。(I-10)
- 防水ゴムにゴミの付着が無く、きちんと溝に収まっていることを確認してからドームケースを取り付けてください。(I-11)
- 防水ゴムにゴミの付着が無く、きちんと溝に収まっていることを確認してからキャップを取り付けてください。(I-12)

接続

ネットワークへの接続

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANポートとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

電源の接続

SNC-VM642R
本機は、次の3通りの方法で電源を接続できます。

- DC 12V
- AC 24V
- IEEE802.3af/at準拠の電源供給装置 (PoE/PoE+*方式)

* PoE: Power over Ethernet の略です。

注意

- 電源を入れた後、すぐに電源を切らないで下さい。電源を切る場合は、5分程度お待ちください。
- PoE方式で電源を供給する場合、電源入力ケーブルは接続しないでください。
- IEEE802.3af (PoE)準拠の装置により給電する場合は、POWERスイッチをPoE+、AC、DCにしないでください。

SNC-EM642R
IEEE802.3af/at準拠の電源供給装置 (PoE/PoE+*方式)

* PoE: Power over Ethernet の略です。

注意

- 電源を入れた後、すぐに電源を切らないで下さい。電源を切る場合は、5分程度お待ちください。
- IEEE802.3af (PoE)準拠の装置により給電する場合は、POWERスイッチをPoE+にしないでください。

DC 12VまたはAC 24V電源への接続(SNC-VM642R)

本機の電源入力ケーブルをDC 12VまたはAC 24Vの電源供給装置へ接続します。

- DC 12VまたはAC 24Vは、AC 100Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。(本機で受ける電圧(受電端電圧)の保証範囲となります。)

ケーブル(AWG)	#14	#16	#18
最大ケーブル長(m)	24	15	9

本機受電端電圧がAC 24Vの場合

ケーブル(AWG)	#20	#22	#24
最大ケーブル長(m)	100	63	39

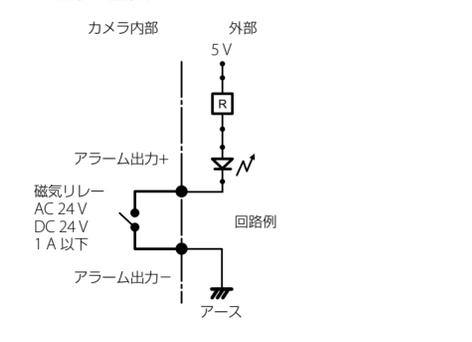
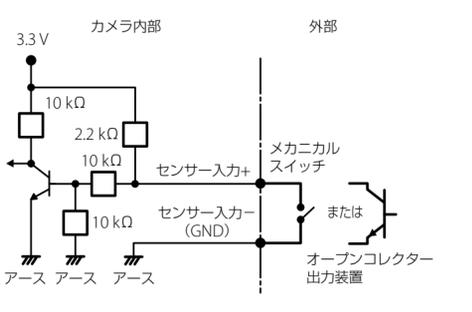
IEEE802.3af/at準拠の電源供給装置への接続

IEEE802.3af/at準拠の電源供給装置は市販のネットワークケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

注意
IEEE802.3at準拠の電源給電装置に接続する場合、カメラに供給される電力が、電源給電装置の制御によって制限される可能性があります。この場合、カメラの動作が停止することがあります。詳しくは電源給電装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続(SNC-VM642R)

I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。



主な仕様

圧縮方式	JPEG/H.264
映像圧縮方式	G.711/G.726/AAC
音声圧縮方式	60 fps
最大フレームレート	
カメラ	
赤外線LED	20 pcs
赤外線照射距離	SNC-VM642R: 100 m (30 IRE)
	SNC-EM642R: 60 m (30 IRE)
信号方式	NTSCカラー/PALカラー切り替え方式
撮像素子	1/2.8型CMOS (Exmor R)
	有効画素数: 約213万画素
同期方式	内部同期
水平解像度	700 TV 本(4:3モニター表示時)
映像S/N	50 dB以上(オートゲイン最大値0 dB時)
最低被写体照度	View-DRオフ/VE*オフ/オートゲイン最大値
	MAX/30 IRE (I/P)/30 fps
	F1.2/カラー: 0.006 lx 白黒: 0.005 lx

* VE: Visibility Enhancerの略です。

レンズ	
焦点距離	3.0 mm ~ 9.0 mm
最大口径径比	F1.2 ~ F2.1
画角	1920 × 1080 (アスペクト比 16 : 9)のとき
	垂直: 56.9° ~ 20.1° 水平: 105.3° ~ 35.6°
レンズ可動角度	パン: -192° ~ +192°
	チルト: -7° ~ +75°
	ローテーション: -99° ~ +180°
最近撮影距離	300 mm
インターフェース	
LANポート(PoE/PoE+)	10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション(RJ-45)
I/Oポート(SNC-VM642Rのみ)	センサー入力: ×2、MAKE接点、BREAK接点
	アラーム出力: ×2 (最大AC/DC 24V、1 A)
	(メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁)

SDメモリーカードスロット	
映像出力端子	VIDEO OUT (BNC型)
	1.0 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負極性
マイク入力*	ミニジャック(モノラル)
	プラグインパワー方式対応(基準電圧2.5 VDC)
	推奨負荷インピーダンス2.2 kΩ
	ミニジャック(モノラル)
ライン入力*	
ライン出力	ミニジャック(モノラル)、最大出力レベル: 1 Vrms

* マイク入力とライン入力はメニューによる切り替え
ライン出力

その他

電源電圧

SNC-VM642R	DC12V 10%
	AC 24V± 20%、50 Hz/60 Hz
IEEE802.3af/at準拠 (PoE/PoE+方式)	
SNC-EM642R	IEEE802.3af/at準拠 (PoE/PoE+方式)
消費電力	SNC-VM642R
	最大 22 W (AC 24 V/DC 12 V)
	最大 18 W (IEEE802.3at PoE+)
	最大 12.8 W (IEEE802.3af PoE)
	SNC-EM642R
	最大 18 W (IEEE802.3at PoE+)
	最大 12.8 W (IEEE802.3af PoE)
使用温度	SNC-VM642R
	電源投入時:
	-30°C ~ +60°C (IR Off, PoE+, AC 24 V, DC 12 V)
	-30°C ~ +50°C (IR On, PoE+, AC 24 V, DC 12 V)
	0°C ~ +60°C (IR Off, PoE)
	0°C ~ +50°C (IR On, PoE)
	通電動作時:
	-40°C ~ +60°C (IR Off, PoE+, AC 24 V, DC 12 V)
	-40°C ~ +50°C (IR On, PoE+, AC 24 V, DC 12 V)
	-10°C ~ +60°C (IR Off, PoE)
	-10°C ~ +50°C (IR On, PoE)
	SNC-EM642R
	電源投入時:
	-30°C ~ +50°C (PoE+)
	-20°C ~ +50°C (PoE)
	通電動作時:
	-40°C ~ +50°C (PoE+)
	-30°C ~ +50°C (PoE)
保存温度	-20°C ~ +60°C
動作湿度	20% ~ 90% (結露なきこと)
保存湿度	20% ~ 80% (結露なきこと)
外形寸法(直径/高さ)	166 mm × 128 mm (突起部含まず)

質量

SNC-VM642R: 約1,830 g (ブラケット含まず)

SNC-EM642R: 約1,740 g (ブラケット含まず)

付属品

ブラケット(1)、テンプレート(1)、ワイヤーロープ(1)、LANケーブルホルダー (1)、本体取り付けネジ(4)、ネジ M4×8 (2)、L2ネジ (1)、安全のために(一式)、ケーブルホルダー (Conduitホルダー用)

別売アクセサリー

天井埋め込み金具 Y-ICB45*

* 天井埋め込み金具の左右金具の固定ネジを、Dの位置に固定してお使いください。

Weather protector SNCA-WP602

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お問い合わせ先

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1